

科 目 名	経 済 学 概 論【社福】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	権 藤 幸 憲						
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	〔授業の内容〕近代経済学を構成するミクロ経済、マクロ経済の概要を解説し経済学の基本的な考え方を学ぶ。また、国際経済についても時事問題を交えながら解説してゆく。						
授 業 の 到 達 目 標	人間の無限の欲望に対して、その欲望を満たす財・サービスには限度がある。この限られた財・サービスをいかに最も合理的に生産し、分配し、消費するかを分析するのが経済学の中心課題である。授業では、こうした経済学に固有の考え方を習得し、ミクロ経済・マクロ経済の基礎を理解することを目標とする。						
学 習 方 法	毎回資料を配布し、それに基づいて授業を行っていく。						
テキスト及 び参考書等	テキスト：毎回資料を配布する 参考書：福岡正夫『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社 1993年（購入の義務なし）						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			70		
小テスト等	○	○			30		
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	経済学の歴史						
第 2 週	消費者行動の理論 1						
第 3 週	消費者行動の理論 2						
第 4 週	企業行動の理論 1						
第 5 週	企業行動の理論 2						
第 6 週	市場メカニズム						
第 7 週	価格形成の理論						
第 8 週	国内総生産の概念						
第 9 週	国民所得水準の決定と管理						
第 10 週	貨幣市場						
第 11 週	物価、賃金、インフレーション						
第 12 週	景気循環の理論						
第 13 週	雇用と物価問題						
第 14 週	国際経済						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考							